

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成28年9月1日 VOL. 21

## 家で最期まで療養する人を支援する人になるために

### しだ介・ケア研合同研修会

平成28年8月26日（金）市役所大会議室を会場に、しだ介護サービス事業所協議会・藤枝市介護支援研究会が企画・運営の、「正しい看取り方 安らかな看取られ方をめざして」研修会を開催しました。

講師：みんなのMITORI・研究会 近藤 和子氏

ホームページ <http://takenagah.wix.com/mitori>



「在宅看取りは、本人とご家族、ケアスタッフ、三者三様の不安へのサポートが大事」「市民へのリビングウィルと家族が決定する医療と看取りの形」「ケアする人・される人の両方に必要なグリーフケアの啓発が大事」など、実践に基づいた説得力あふれる講演に、介護事業者・ケアマネ・訪問看護師など200人が引き込まれました。



### それぞれの立場から看取り体験の事例発表



ケアマネとして  
茂川美代子さん



通所リハ施設として  
大内弥生さん



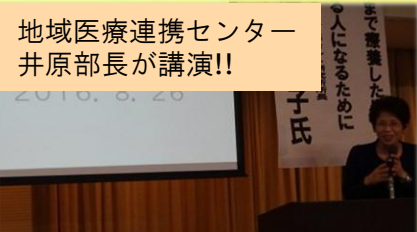
グループホームとして  
石原孝之さん

「地域包括ケアに連携していく多職種が一同に集合しての事例発表はとても大事」と近藤先生に背中を押して頂きました。

「連携し、認め合い、褒め合い、体験の共有とケア職自身のグリーフケアを兼ねた事例発表(近藤先生)」で、感動を共有しさらに学んでいくことを確認し合いました。

### 市立病院の退院支援

地域医療連携センター  
井原部長が講演!!



### 訪問看護ステーション



研修会が始まる前に、市内6か所の訪問看護ステーションの代表が「訪問看護を利用して安心した在宅療養を」と導入のためのチェックリストと自己紹介をしました。